

重要取組シート

子ども青少年局 子ども青少年育成部
いじめ不登校対策支援室

取組項目		いじめ不登校対策支援					
現状・課題	【現状】	○いじめの認知件数、不登校児童生徒数はそれぞれ増加傾向にある。					
		いじめ認知件数の推移		不登校児童生徒数の推移			
		年度	小学校	中学校	年度	小学校	中学校
		令和元年度	1,069 件	421 件	令和元年度	333 人	644 人
		令和 2 年度	2,282 件	350 件	令和 2 年度	537 人	768 人
		令和 3 年度	3,747 件	569 件	令和 3 年度	632 人	878 人
	令和 4 年度	4,750 件	786 件	令和 4 年度	811 人	1,144 人	
	令和 5 年度	5,678 件	854 件	令和 5 年度	954 人	1,197 人	
	【課題】	○いじめや不登校等の課題を早期に発見し早期対応に繋げる必要がある。					
		○年々こども本人からの相談が増加しているが、いじめの認知件数や不登校児童生徒数からみると少数である。こどもの気持ちに寄り添った対応を行うためには、こどもが安心して相談できる環境をつくり、こども本人から直接思いを聞く取組を充実させる必要がある。					
			令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
		こども本人からの相談件数	15 件	29 件	75 件		
取組の内容		○いじめや不登校などの課題の早期発見に繋がるよう、広報さかいや市 SNS、子育てイベント等で相談窓口の周知を行う。					
		○こどもが相談しやすくなるよう、返信用封筒としても使用できる手紙相談用紙を堺市立学校の児童生徒に配付する。					
		○こども家庭庁「地域におけるいじめ防止対策の体制構築の推進」事業の採択を受け、臨床心理士等によるこどもの意向の聴き取りを行う。今年度は保護者に臨床心理士等により、こどもの意向を聴き取ることの意義や重要性を事前説明することで、より早い段階でこどもの気持ちに合った対応を行う。					
スケジュール	前期 (~9月)	<input type="checkbox"/> (通年) 相談対応 <input type="checkbox"/> (通年) 子育てイベント等での相談窓口の周知 <input type="checkbox"/> (4月) こどもの意見聴取事業委託契約開始 <input type="checkbox"/> (6月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 <input type="checkbox"/> (8月) 市 SNS 等による相談窓口の周知					
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> (9月) 広報さかい等による相談窓口の周知 <input type="checkbox"/> (11月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付					
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 児童生徒本人から相談しやすくなるように、周知方法など継続して改善する					

進捗の状況	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> (通年) 相談対応 <input type="checkbox"/> (5月) こどもの意見聴取事業委託契約開始 <input type="checkbox"/> (6月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 <input type="checkbox"/> (6月) 子育てイベントでの相談窓口等の周知 <input type="checkbox"/> (8～9月) 市 SNS 等による相談窓口の周知		
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> (11月) 堺市立学校に手紙相談用紙の配付 <input type="checkbox"/> (11月) 子育てイベントでの相談窓口等の周知 <input type="checkbox"/> (1月) 市 SNS による相談窓口の周知		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	多様性を尊重した教育の推進		
	寄与する KPI	—		目標値 (2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに	
	寄与する KPI	—		目標値 (2025年度) —